

## クジラ

曾晨妍

ZENG CHENYAN

この世界の間人は、生来、クジラが心の中に住んでいる。クジラは飼い主をある場所に導くガイドである。しかし、全ての人に自分のクジラが見えるわけではない。クジラが導くその場所は、極めて美しい場所だと言われている。

リマは、自分のクジラが見え、幼少時から、その目的地に憧れ、いつかその場所に着きたいと思っていた。クジラは、飼い主の意志と知識が力の源で、力が強いほど、目的地に辿り着く可能性が高い。途中で力尽き、クジラが見えなくなり、迷子になった人も少なくない。リマは毎日、自分が目的地に着くことを想像し、クジラに力を与えるため努力していた。彼女はクジラが見える事も、その場所に行きたい事も、誰にも言わなかった。そして、そのまま、成人式を迎えた。

この世界の人達は、成人式に必ず冒険の旅に出る。目的地までの道は、皆違う。ある人は親に言われた通り、危険のない近場を選ぶ。ある人は目的地がなく、色々な所に行き、一番気に入った場所を選ぶ。そして、僅かな人が、一番辛い、その美しい場所を選ぶ。

リマも、その道を選ぼうと思ったが、その考えを親に言ったところ、叱られた。彼女の親は、クジラが見えない人で、クジラとその場所の存在すら信じていない。だが、彼女は親の反対を物ともせず、旅に出た。家を出る時、親と大喧嘩し、親からの祝福の魔法も旅への助言も貰わなかった。

旅の道は危険が多いが、一番危険なのは「実」

という敵だ。親の支援がある人は、祝福の魔法で守られ、親に渡された強い剣で「実」を倒す事ができるが、心は何もない。自分で作った素朴な剣のみで「実」と戦った。最初、彼女は何も恐れず、頑張った。しかし「実」は強すぎて、彼女に苦痛を与え、リマは力も自信もなくなった。ある日、リマはクジラが見えなくなった事に気づいた。クジラが見えなくなった彼女は、親の薦めた安全で魅力ない場所に帰った。そして、そのまま何十年も経った。彼女のクジラは、それ以降、一度も現れなかった。

ある日、リマは旅の途中の娘に出会った。彼女は昔のリマと同じように、親の反対を無視し、旅に出ている。リマは彼女が同じ目に合わぬように、自分の話を彼女に言った。

「怖くないの？実強いよ」

「実は倒すのではなく、受け入れれば、強い仲間になります！心さんも私と一緒に、もう一度旅に出ませんか？」

「しかし私はもう若くないし、クジラも…」

「大丈夫、クジラはいつでも主人を待っています。」

その話を聞いたリマは、心の中で何かが動くのを感じた、そして、彼女のクジラが心の中から飛び出した。光り輝く、綺麗なクジラだ。二人は、クジラの導きのもと、旅に出た。山を越え、海を渡り、憧れの場所に近づいている。彼女たちの目に映るのは、星に向かって泳ぐクジラと、クジラの光に照らされた美しい景色。

クジラの名前？それは「夢」と言うもの。